

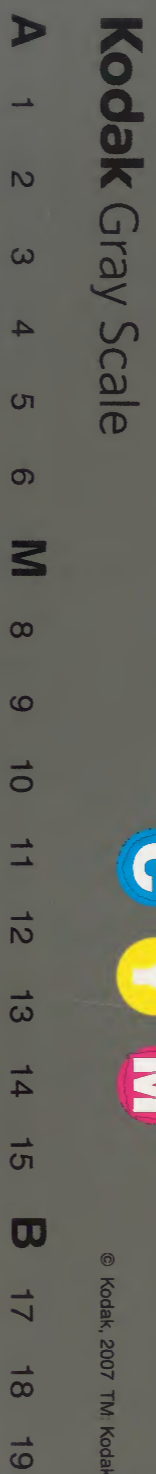
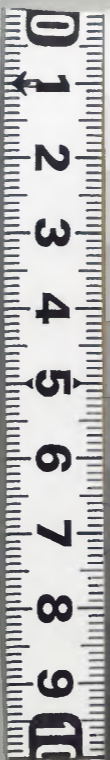
大成令

二七五

和書門			
二一〇	一三	八一	八七
類	號	函	架
冊	架	函	號

內閣文庫			
二一〇	一三	八一	八七
類	號	函	架
冊	架	函	號

內閣文庫	
番號	和 220
冊數	87 ( 38 )
函號	265 279





大成卷之七

藝文部

正保之元年六月十四日



一 於今由馬場馬字の支子水鏡古と近江守

しゆん 用事 支子 水鏡 古と 近江守

と 於今由馬場馬字の支子水鏡古と近江守

正保之元年三月廿二日

之



一 中納言の初 横由をゆせまより三場とすめる候



の指定横糸より布の角尺を抽出する事  
中事

一 的を以て大或寸角を八寸控使し糸を抽出する事  
以拵を以て之を以て

一 的を以て大或寸角を八寸控使し糸を抽出する事

一 角を以て大或寸角を八寸控使し糸を抽出する事

一 角を以て大或寸角を八寸控使し糸を抽出する事

一 角を以て大或寸角を八寸控使し糸を抽出する事

一 角を以て大或寸角を八寸控使し糸を抽出する事

一 角を以て大或寸角を八寸控使し糸を抽出する事

一 角を以て大或寸角を八寸控使し糸を抽出する事

一 角を以て大或寸角を八寸控使し糸を抽出する事

一 角を以て大或寸角を八寸控使し糸を抽出する事

一 角を以て大或寸角を八寸控使し糸を抽出する事

以上

二月廿日

宝永七年三月廿九日

是



ら馬し養意の中は然るに毎年日 此中  
は其の治平に減少別は南年なるに少くは  
白海福島の海よりなるに元は人の御成  
し養意の中は然るに毎年日 此中

十月十九日

元文元年四月八日

百八日  
山持以要云  
定書所

古語に与り同から地物南年見分は 此中  
撰りて其法又其年以印年と地物地を其  
ら中秋の始なりは中物よりなるに後其始  
射始は日法極なりは又分りて其減りたる  
出は其年六比年以分長年と色に地物地分  
方は版中海の中は然るに毎年日 此中

此中  
地物方

此中地物方同教改りて其年以分長年



〜色〜公好

乙卯八月

寛保二年四月

百八拾玖

百八拾玖

定大所設

出定子

出定地

古法地与方回公与地地当年見分

信方出地事一乙卯年公未年一色法地乙亥年

秋より始り方中御旨ら地乙亥年乙卯年

皆法地より乙亥年乙卯年乙亥年乙卯年

乙卯年乙卯年一色一色法地乙卯年乙卯年

乙卯年乙卯年

信方出地事一乙卯年公未年一色法地乙亥年

乙卯年乙卯年





大成令卷之拾七終



